



彩の国
埼玉県

大里農林振興 センターだより

発行 埼玉県大里農林振興センター
熊谷市久保島 1373-1
TEL:048-523-2812 FAX:048-526-2494
E-mail k232812@pref.saitama.lg.jp



「コバトン」

第2号



<p>① 円良田湖</p>		<p>1. 所在地 寄居町末野</p> <p>2. 造成年 昭和29年</p> <p>3. 受益面積 184ha</p>	<p>② 備前渠用水取入口</p>		<p>1. 所在地 本庄市山王堂</p> <p>2. 造成年 昭和5年</p> <p>3. 受益面積 1,371ha</p>
<p>③ 玉淀ダム</p>		<p>1. 所在地 寄居町末野</p> <p>2. 造成年 昭和39年</p> <p>3. 受益面積 3,212ha</p>	<p>④ 六堰頭首工</p>		<p>1. 所在地 深谷市永田</p> <p>2. 造成年 平成15年</p> <p>3. 受益面積 3,820ha</p>

空から見た主要農業水利施設：埼玉県防災ヘリ「あらかわ2」より(当センター職員撮影)

大里農林振興センターのホームページに同じ内容で掲載しております
ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0906> 年2回発行(3、9月)

S-GAPで農業経営を見直しましょう！

1 S-GAPとは

農場経営における、食品安全・労働安全・環境保全を改善することで、効率的で信頼性の高い持続可能な農業経営を目指す、農業生産安全確認運動(S-GAP)の取り組みを推進するものです。S-GAPは、国のガイドライン等に準拠した内容でありながら、できる限りわかりやすい言葉で表現し、より取り組みやすい仕様になっています。

埼玉県では、平成28年度中に、農場評価制度を導入し、GAPに取り組む生産者を支援します。S-GAP農場評価制度で一定の評価を得た農場は、県HPでの公表も行います。

2 なぜS-GAPに取り組むの？

農薬ビンの片付けやカギのかかる農薬保管庫の整備、資材の購入伝票の整理など、いつかはやらなければならないと思ってそのままにしていることはありませんか。改善が必要な点を発見し、改善の必要性を自覚し、実行することがS-GAPの取り組みです。事件・事故が発生する前に、問題点を解消することが、安定的な農業経営に

つながります。

3 S-GAPで農場経営を考える

GAPは、農産物の安全を確認するためにチェックリストを提出するというものではありません。自身で日頃の問題点を把握することで、農場経営の安全性が高まるとともに、資材の節減、作業の効率化により収益性の向上も図ることができます。S-GAPに取り組み、自身の農場経営について改めて考えてみてください。



頑張る生産者を応援します！（補助事業の御案内）

1 各種補助事業の御案内

大里農林振興センターでは、各種補助事業をとおり、農業者の生産拡大等を支援しています。今回は、国の主な事業について紹介します。

(県の単独の補助事業については、次号にて紹介する予定です。)

今年度は、農業者個人を対象に支援する融資主体型経営体育成支援事業に加え、産地パワーアップ事業やオーダーメイド型産地づくり事業が実施されます。



産地パワーアップ事業は、TPP対策として実施される事業で、地域一丸となって収益力強化に計画的に取り組む産地に

対し、計画策定経費、計画の実現に必要な農業機械のリース導入や、集出荷施設の整備に係る経費等を、総合的に支援します。

また、オーダーメイド型産地づくり事業は、加工・業務用農産物に対する需要が高まっていることから、県内の食品等加工業者と産地の結びつきに対する支援として、新たに加工向け野菜の生産拡大に取り組む生産者組織等に対して補助を行います。

2 御相談ください！

補助事業によって、補助対象や要件は異なります。補助事業を活用して新たに生産施設や機械の導入を検討している方、規模拡大を目指している方及び産地づくりを行う等新たな取り組みを検討している方は、大里農林振興センターまで御相談ください。

(管理部地域支援担当)

TEL: 048-523-2812

買って新鮮、食べて美味しい！埼玉ブランド農産物

1 埼玉ブランド農産物とは

埼玉県では、県内産の農産物が多くの方から評価・購入されることを目指し、関係機関が連携して、農産物のブランド化に取り組んでいます。当センター管内では、昨年度新たに丸系八つ頭が加わり、深谷ねぎ、大里地域のきゅうりなど12品目を埼玉ブランド農産物として推進しています。

2 埼玉ブランド農産物を味わってみませんか

これらのブランド農産物を一般消費者の方々にPRする場として、年に6回、管内農産物直売所において試食キャンペーンを実施しています。6、7月には、ふれあいセンター江南店、川本農産物直売所において、ブルーベリーやスイートコーンのキャンペーンを行い、新鮮な農産物を消費者の方々に味わっていただきました。召し上がっていただいた方からは、「こんなに大粒のブルーベリーは初めて!」「深谷のスイートコーンは甘くておいしい!」との御意見をいただきました。

今後も、管内直売所において埼玉ブランド農産物のキャンペーンを実施します。深谷のねぎを丸ター本召し上がっていただく「ねぎ焼き」や地元の野菜がたっぷり入った「煮ぼうとう」の試食など、地元農産物を存分に味わっていただけるキャンペーンを予定しております。

詳細については、大里農林振興センターのHPで随時情報発信していますので、皆さまのお越しをお待ちしております。



農地中間管理事業について

1 大里農林振興センターの取組

大里農林振興センターでは、市町や関係機関と連携し、担い手へ農地の集積・集約を進める農地中間管理事業を推進しています。

農地中間管理事業は、埼玉県農地中間管理機構（埼玉県農林公社）が地権者から農地を借受けたうえで、公募に応募した担い手へ農地を貸し付ける方式になっています。

大里農林振興センター管内では、熊谷市の小原地区、奈良地区、寄居町の男衾地区で取り組みが始まっており、これまでに、59.2haの農地が担い手へ集積されました。

農地中間管理事業の取組は、まず初めに地元の担い手の皆さんと話し合いを行い、事業に取り組むことを決めます。

その後、地権者への事業説明会を行い、農地の貸付を希望する方を募集します。あわせて、借受を希望する方を公募して、借受を希望する担い手へ貸付を進めます。

2 大里農林振興センター管内の実績

地区名	貸付面積 (ha)	受け手数
熊谷市小原地区	48.9	1
熊谷市奈良地区	6.0	6
寄居町男衾地区	4.3	7



奈良地区地権者説明会

※農地中間管理事業に係るお問い合わせは、市町農政担当課や農業委員会、大里農林振興センター【☎048-523-2814】又は埼玉県農地中間管理機構（埼玉県農林公社）【☎048-558-3555】へ御連絡ください。

埼玉県農業大学校学生募集

埼玉県農業大学校では、平成29年度の学生募集を行います。

入学願書は「埼玉県農業大学校ホームページ」及び、「大里農林振興センター」で入手できます。

●お問い合わせ 埼玉県農業大学校

入試・教務調整担当 電話 048-501-6845

●募集定員

学科	定員	
野菜	30名	90名
水田複合	5名	
花植木	15名	
酪農	5名	
短期農業	35名	

※短期農業は1年課程、他は2年課程

●出願期間・試験日・合格発表

学科	入試区分	出願期間		試験日	合格発表
野菜 水田複合 花植木 酪農 短期農業学科短期野菜専攻	推薦入試	H28.10.3(月)～10.14(金) ※		H28.10.28(金)	H28.11.7(月)
	一般入試	前期	H28.11.8(火)～11.18(金)	H28.12.2(金)	H28.12.16(金)
		後期	H29.1.4(水)～1.10(火)	H29.1.19(木)	H29.1.27(金)
短期農業学科有機農業専攻	一般入試	前期	H28.11.8(火)～11.18(金)	H28.12.2(金)	H28.12.16(金)
		後期	H29.1.4(水)～1.10(火)	H29.1.19(木)	H29.1.27(金)

・規定の定員を満たした専攻については、一般入試後期を実施しない場合があります。

※農林振興センター所長の推薦を受けたい場合は、9月16日(金)までに、申し出てください。

「秋の農作業事故ゼロ運動」実施中！(9月1日～11月30日)

埼玉県内では、平成27年度中に農作業事故が42件発生し、うち8件が死亡事故でした。農作業事故の約6割は、乗用トラクタ、歩行用トラクタ、動力運搬機などの農業機械によるものです。事故は農業機械の操作の慣れによる油断や、あせりによる不注意等によって引き起こされることが多いため、十分に注意してください。

1 乗用トラクタの事故を防止するために

(1) 乗用トラクタ事故の特徴

死亡事故原因の約8割が横転・転落です！安全キャブ・フレームを装着し、シートベルト・ヘルメットを着用しましょう。

(2) 路肩に注意

転倒、転落による死亡事故の殆どがほ場や農道で発生しています。下記の対策をしましょう。

- ①路肩が分るように、草刈りをしたり、目印を立てたりする。
- ②前後輪の内輪差を考えて、カーブを曲がる。
- ③ほ場の出入口の傾斜方向に対し平行に進入する。

(3) 片ブレーキの誤操作による転倒事故を防ぐ
下記の操作を行う前には左右ブレーキを忘れずに連結しましょう。

- ①ほ場へ出入りする。
- ②道路を走行する。
- ③傾斜地で作業する。
- ④畔を乗り越える。
- ⑤トラック等へ積み込む。



2 乗用トラクタやコンバインの点検作業時は必ずエンジン停止！

絡まった草や詰まったわらを取り除く際は、必ずエンジンを停止させて、安全な状態してから行いましょう。

3 歩行用トラクタの後進時には障害物に注意！後進の発進時はゆっくりと！

後進時の挟まれ事故に注意しましょう。後方の立木、支柱などの障害物の周りでは、余裕ある距離を保つようにしましょう。

万が一に備え、労災保険に加入しましょう！

平成29年産麦類の栽培管理ポイント

1 排水対策

は種から生育初期(11~12月)と出穂期~登熟期(5月)の大雨による湿害は収量低下の要因の一つです。

湿害対策として、弾丸暗渠やほ場周囲及びほ場内に排水溝(明渠)を設置し、外部の排水口につなぎます。

2 適期・適量は種

種子は必ず更新し、種子消毒を行いましょ。

は種が早過ぎると凍霜害や縞萎縮病の被害を受けやすく、遅過ぎると生育不足による収量の減少や品質低下につながります。

また、は種量が多過ぎるほ場が目立ちます。は種量が多いと倒伏や穂の短穂化の原因になりますので、は種量(5~7kg/10a)を守りましょ。

なお、昨年、ヤギシロトビムシが発生したほ場では、種子消毒等の対策を行い、被害を軽減しましょ。

3 施肥

収量と品質を確保するためには適切な施肥が必要です。

倒伏を恐れたり、早期収穫のために肥料を控える方もいますが、それでは、収量と品質は確保できません。特に「さとのそら」は、追肥による増収効果が高いので適切な肥料(窒素成分:基肥8~10kg/10a+追肥2~4kg/10a)を施用しましょ。

また、pH調整のために石灰質肥料を施用します。地力が低いほ場は、堆肥を施用し、土づくりや地力増進を行いましょ。

4 雑草防除

雑草を繁茂させると、麦が生育不良となり、収量の低下を招きます。また、収穫時の雑草種子の混入は品質低下などの原因となります。

ほ場ごとの優占雑草を考慮し、は種後の土壌処理剤を的確に散布しましょ。

ねぎ黒腐菌核病 秋以降の農薬の使い方

1 黒腐菌核病菌の特徴

比較的低温(5~20℃以上)を好み、菌の生育適温は15~20℃です。

菌核を形成することで、土壌中に長期間にわたって生存します。

2 防除の考え方

単一の防除対策では確実な効果は上がりません。耕種的防除や土壌消毒、ねぎ生育期の農薬使用を組み合わせる必要があります。

3 農薬使用の考え方

秋に入り、病原菌の活動が始まる時期を迎えます。菌の生育温度に合わせて農薬による防除を行いましょ(下図参照)。

- 1回目: 9月下旬~10月上旬
(平均気温が20℃を下回る時期)
- 2回目: 1回目の約1か月後
- 3回目: 2月下旬(春どり作型)
(平均気温が5℃を上回る時期)

作型	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
秋冬どり	アフェットフロアブル①		アフェットフロアブル②					
春どり	アフェットフロアブル①		モンガリット粒剤①				アフェットフロアブル②	

平均気温が20℃を下回る
9月下旬~10月上旬が
農薬使用1回目の目安

1回目から約1か月
空けて農薬を使用

平均気温が5℃を上回る
2月下旬が農薬使用
3回目の目安

アフェットフロアブル 株元灌注 1000~2000倍 1リットル/㎡ 収穫14日前まで
モンガリット粒剤 株元散布 6kg/10a 収穫14日前まで

図 9月以降の農薬使用例

高品質な切り花を供給するために

当地域は、露地の小菊やけいとう、施設のゆりやチューリップなどの切り花栽培が盛んで、市場流通を中心に農産物直売所など多様な販路を通じて切り花が供給されています。

消費者を対象とした花きの品質に関するアンケート調査結果では、切り花の日持ちが良いことが求められていました。

品質を保つとともに、消費者の求める日持ちの良い切り花を供給するためには、水揚げなど初期の管理が重要になります。水揚げや保管容器の衛生管理など、ポイントとなる作業についてお知らせします。

1 水揚げ容器の洗浄を行う

水揚げ用の容器は、こまめに手入れをしないと活け水や容器の内面にバクテリアが繁殖します。表は、夏期の活け水でのバクテリアの繁殖状況を調査した結果です。

高温期は、短時間で急激に増加し、水を汚染することがわかります。それを防ぐためには、

洗剤を用いて水揚げ用台車や容器など丁寧に洗います。洗剤を使用しないと除菌効果は発揮できません。また、洗浄時には、たわしなど容器を傷つけやすいものではなく、スポンジなど柔らかい素材のものを使用します。洗浄後、容器はよく乾燥させましょう。

表 活け水中のバクテリアの繁殖状況

	7月25日	7月26日	7月27日
バクテリア数	3	167	272
増殖率	1	55.7	90.7

(単位 バクテリア数:RLU、増殖率:倍)

2 活け水交換を定期的に行う

表のように、夏期は短期間でバクテリアによる活け水の汚染が進みますが、気温の低い冬期でも同様にバクテリアの汚染が起こります。

容器の清潔を保つためには、洗浄の他に、活け水の交換を行うことが必要です。夏期は1日に2回程度、冬期は数日ごとに行いましょう。

第18回関東地区ホルスタイン共進会が熊谷で開催

第18回関東地区ホルスタイン共進会が埼玉県農業技術研究センター玉井試験場を会場に開催されます。

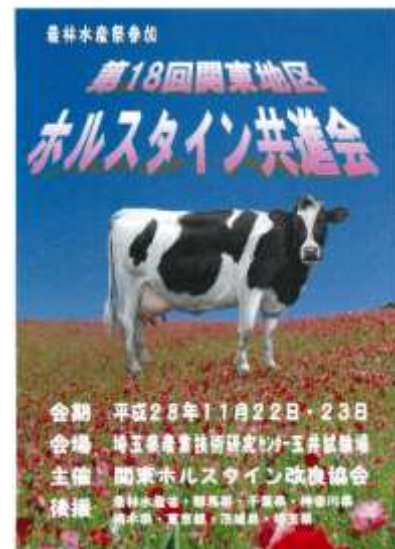
この共進会は、関東地区の1都6県から選ばれた100頭の乳牛(ホルスタイン種)が集まり、名誉賞(農林水産大臣賞)を目指します。埼玉県では15年ぶりに開催されるもので、例年、各県の農業高校等からの出品も多くみられます。

共進会の目的は、飼養技術の普及向上、品種改良を進め、酪農業の進展を期するものです。生産者の方はもちろん、一般の方々もぜひ素晴らしい牛たちを見に来てください。開催概要は以下のとおりです。

- ・審査日 平成28年11月23日(水・祝日)
出品予定頭数 100頭
- ・会場 埼玉県農業技術研究センター玉井試験場
(熊谷市玉井195-1)
- ・審査時間 9:00～ 第1部～4部 未經産牛
11:30～ 第5部～8部 経産牛
14:00 名誉賞決定

なお、埼玉県の予選会は平成28年10月25日(火)に深谷家畜市場において開催される第52回埼玉県乳牛共進会で行われます。

ここで選ばれた16頭の牛が埼玉県代表として関東地区の共進会に出場します。



経営状況を自己チェックできる「新たな農業経営指標」について

1 経営状況を自己チェックするシステム

農林水産省は、農業者が自らの経営状況をチェックし、経営改善を図るプログラムとして「新たな農業経営指標」（経営改善実践システム）を運営しています。

このシステムは、農林水産省ホームページにアクセスして利用できます。ホームページを開き、「サイト内検索」覧に「新たな農業経営指標」と入力して検索します。

開いたページで、「経営改善実践システム」（水色のアイコン）をクリックすると入力画面に移ります

初回は、「利用者情報登録画面」に必要事項を記入します。以後は、指示に従い必要事項を入力し、最後に経営収支を入力します。個人経営は青色決算書を基に、法人経営は損益計算書と製造原価報告書を基に入力します。

なお、データの保存・修正も容易であり、次年度以降の経営状況のチェックも可能になります。

2 結果の活用

入力終了後、評価結果シートが次の内容で出力されます。

＜経営状況の全国水準との比較＞

品目別単収・販売金額、労働生産性、総費用、農業所得等を「全国農家の標準的水準」や「トップクラス農家の水準」と比較できます。これにより自らの経営の将来目標も設定できます。

＜財務指標＞

「自己資本比率」、「売上高現預金比率」等の財務状況の水準が提示されます。

＜改善取組事項＞

経営改善に取組むべき14項目が優先順に図示されます。

3 農林振興センターも支援します

評価結果を基に、自分の農業経営をどのように改善・発展させていくか検討し、次期の経営計画に反映させましょう。

入力から評価結果の見方まで、不明な点は農林振興センターへお問い合わせください。

バルツバインがドイツ国際コンテストで金賞を受賞

「手づくりハム工房バルツバイン」で親しまれている、寄居町の株式会社坂本ファームが、ドイツ国際コンテストIFFA2016に、13品を出品し、腸詰部門・太物ソーセージ部門において計9品の金賞を受賞しました（その他、銀賞3品、銅賞1品、出品商品すべてで受賞）。

ドイツ国際コンテストIFFA2016は、ドイツ食肉協会が主催し、3年に一度、フランクフルトで開催されます。約130年の歴史のあるもので、5日間にわたり、食肉加工のマイスター達が外観、食感、味等を審査し、金賞は、各審査項目満点の出品物のみにも与えられます。



バルツバイン坂本健将氏と受賞商品及びメダル

受賞したバルツバイン工場長の坂本健将氏は、「普段はお客さんが審査員。受賞により、これまでに以上に”美味しさ”の探求に努めたい」と話されています。

坂本ファームでは、衛生的な飼育環境の下で、オリジナル飼料により生産した良質な豚肉を原料に使用し、オールポークでドイツ製法に基づき、保存料や着色料などを使用せずに作ることにこだわっています。世界が品質を高く評価したバルツバインの商品を是非皆さんもご賞味ください。

埼玉県では、こうした先進事例のように、1次産業（農業）×2次産業（製造）×3次産業（販売）を掛け合わせ、農業者が主体となり生産・商品づくり・販売・サービス提供等の事業を展開する農業の6次産業化を推進しています。生産者の皆さんも、6次産業化について検討してみたいかがでしょうか。

地産地消の取組

学校給食関係者と産地との交流会が開催 されます(熊谷市)

熊谷市では、学校給食に携わる栄養士さんと、JAくまがやをはじめとする生産者との交流会を昨年に引き続き開催し、当センターも支援を実施します。



昨年の交流会は夏休み期間に江南地区で開催しました。「生産者の話を聞き、現場を直接見ることができ

て良かった。子供たちに伝えたい。新鮮な野菜をJAから直接購入できることがわかり、また開催して欲しい。」など発言があり好評でした。

そのため、今年は妻沼地区で10月に開催し、地元特産の「ねぎ」や「きゅうり」の生産状況を知ってもらい、学校給食の地産地消に役立てていただく予定です。

あなたの「6次加工品」を「埼玉県農林公園」で PR・販売してみませんか(出店者募集)

例年、11月に開催される埼玉県農林公園(深谷市本田)の秋まつりは、駐車場に入りきらないほど沢山の来場者でにぎわいます。その会場で、御自身の6次加工品をテスト販売していただける農業者を募集します。



初めてテスト販売を行った昨年の秋まつりでは、売り切れが出るほどの大人気で、一部の商品は、後日、農林公園農産物直売所での委託販売に結び付けました。

今回に限り出店料は無料で、PR等についても当センターが応援いたします。

日程や出店方法などの詳細は、担当：新井(俊)・豊田までお問い合わせください。

平成28年度 農業農村整備事業の実施状況

当センター農村整備部(深谷庁舎)で所管している、用排水施設や農地の整備、農地の防災保全、農道の整備等「農業農村整備事業」の実施状況をお知らせします。

<県営事業>

NO	事業名	地区名	市・町
①	かんがい排水事業	生野 地区	本庄市(旧児玉)
②	かんがい排水事業	荒川中部右幹線 地区	深谷市、大里郡寄居町
③	かんがい排水事業	荒川中部左幹線 地区	深谷市、本庄市、大里郡寄居町
④	かんがい排水事業	大里 地区	深谷市
⑤	かんがい排水事業	備前用水Ⅲ期 地区	本庄市
⑥	かんがい排水事業	奈良川・さすなべ 地区	熊谷市、行田市
⑦	かんがい排水事業	豊里東部 地区	深谷市
⑧	ほ場整備事業	熊谷中央 地区	熊谷市
⑨	ほ場整備事業	明戸北部 地区	深谷市
⑩	農地防災事業	秦 地区	熊谷市
⑪	農地防災事業	篠の池 地区	本庄市
⑫	農地防災事業	桐ヶ谷池 地区	美里町
⑬	農道整備事業	大里比企北部 地区	熊谷市

<団体営事業>

NO	事業名	地区名	市・町
①	彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	下郷 地区	深谷市
②	彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	熊谷市地区	熊谷市

<県費単独事業>

NO	事業名	地区名	市・町
①	かんがい排水事業(緊急)	備前渠 地区	本庄市、熊谷市
②	かんがい排水事業(緊急)	針ヶ谷 地区	深谷市
③	かんがい排水事業(緊急)	北谷津池 地区	大里郡寄居町
④	かんがい排水事業	村岡 地区	熊谷市
⑤	農道整備事業	富田 地区	大里郡寄居町
⑥	かんがい排水事業	中奈良 地区	熊谷市
⑦	かんがい排水事業(緊急)	江袋溜井 地区	熊谷市